

日本庭園の新たな魅力創出について

■ 将来ビジョン

基本方針3:「緑の中で人々が憩い活動し自然の美に感動する公園」

(基本的な考え方)

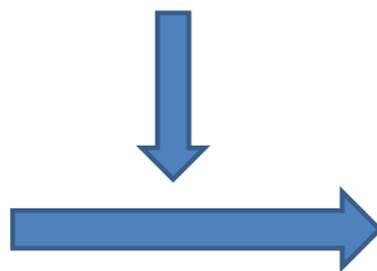
万博記念公園は、これまでも地域のボランティアやNPO等が植栽管理などに携わり、地域とつながる公園として、多くの人々の関わりの中で育成されてきた。さらにこうした取組みを進め、多くの人々が緑に関わり自然の美に感動する公園とする。また、日本庭園は万国博覧会以来、高い品質を維持してきた公園の貴重な名所であるため、質の高い管理を行うとともに、**庭園の見所を分かりやすく示すなど自然と美を体感できる空間**とする。

(取組内容)

- ①日本の文化と美を体感できる質の高い日本庭園の整備
- ②多くの人々の参加によって、緑を育成する組織づくり

■ ビジョン実現に向けた課題

- 見所がはっきりしない(見所景観が分かりにくいなど)
- 来園者が楽しめるソフト的仕掛けの不足(情報量や魅力的な施設の不足など)
- 施設の老朽化(バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応不十分など)



■ ビジョン実現に向けた取組

* 具体的整備に向けた取組事項

- 見所景観の設定
- 魅力向上
- 庭園様式要素の保存
- 施設の高品質化

【今年度、調査審議や助言を頂きたい事項】
日本庭園改修基本計画の具体化について

- 八景(見所景観)、庭園鑑賞モデルコースの設定
- 案内サインや説明サインなどの改善方策

